外郭団体ミッション遂行評価票　【平成２７年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市環境整備協会	所管課	環境局 業務課

団体に対するミッション

ごみ収集部門では、市民サービス水準を維持するとともに、収集コスト面で民間委託業者を牽制する役割を担う。
検査分析部門では、市内唯一の浄化槽法定検査機関としてその役割を着実に担うとともに、環境学習・啓発・国際協力事業を積極的に展開する。

行財政改革大綱における見直し内容

現在、同団体は、環境保全への貢献、ごみ収集における市民サービスの水準の維持、収集コスト面での民間への牽制などの役割を担っている。
今後、家庭ごみの収集業務の全面民間委託化を進める中で、委託化の進捗状況を十分に見極めながら、同団体のあり方や役割を検討していく。
検査分析部門のうち、民間と競合する部分については、今後のそのあり方を検討する。

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	ごみ収集部門では、継続して収集コスト面で民間委託業者を牽制する役割を担う。 検査分析部門では、環境学習・啓発・国際協力事業を積極的に展開して、参加者数、育成技術者数の増加を図る。

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H26 実績	H27 目標	H27 実績	H28 目標	H29 目標	H30 目標	H31 目標
ごみ1トンあたりの収集運搬経費	〈協会〉14,146円 〈民間〉16,334円	民間業者より安価	〈協会〉14,462円 〈民間〉16,670円	民間業者より安価	民間業者より安価	民間業者より安価	民間業者より安価
評価・提言の周知状況（自然環境の調査研究）	未実施	HP掲載	HP掲載	HP掲載	HP掲載	HP掲載	HP掲載
子どもの参加数（環境学習事業）	650人	650人	667人	650人	650人	650人	650人
発展途上国の育成技術者数（累計）	930人 (H21年以降)	1,030人	1,198人	1,130人	1,230人	1,330人	1,430人

ミッションの遂行状況の評価（平成27年度）

団体における評価	ごみ収集部門では、収集コストを民間より低く抑え、ミッションである民間委託業者を牽制する役割を担うことができたと考える。 また、検査分析部門では、環境の調査研究に関し新たな事業を開始するとともに国際研修の増収により収支状況が改善し環境学習・啓発・国際協力事業を積極的に展開することで役割を果たしたと考える。	市の評価	ごみ収集部門では、適正な収集運搬業務を行い市民サービスの水準を維持している。一方で事故件数が前年度実績を上回っているため、事故防止に向けた取り組みを強化していく必要がある。 検査分析部門では、自然環境の調査研究状況の公表を行うとともに子どもの参加者数や発展途上国の育成技術者数を増やすことができた点は評価できる。
今後の課題及び見直し内容	ごみ収集部門では、昨年度重大事故はなかったが、加害事故件数が増加しており職員研修等により安全運転を周知する。検査分析部門では、従来の業務に加えて新たな国際協力事業について提案をしていく。	団体への改善指導内容	ごみ収集部門では、事故件数が増加したため、引き続き再発防止に向けた取り組みを強化するよう指導していく。 検査分析部門では、環境保全の取り組みの広報・啓発及び環境学習や国際協力事業の取り組みを強化していくよう指導していく。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	ー

受注増に向けた取り組みやコスト削減に努めることで、２年連続黒字を維持することができた。
ごみ収集及び検査分析の両部門ともに、引き続き効率的な体制を維持し、協会全体の安定的な運営を行った。